

老健施設が人と地域に貢献するための 人事マネジメント



吉田 隆 [よしだ・たかし]

介護老人保健施設あじさいガーデン伏見（京都府）
事務長

はじめに

私は2006年4月に当施設に入職し、20年目になります。事務長としては7年目になります。入職時は理学療法士として、入所のご利用者のリハビリ業務に従事してきました。リハビリ専門職として医学的なりハビリを行うだけでなく、幅広い視点でご利用者のADL、QOL向上に関わりたいと考えていました。その後、通所リハビリや訪問リハビリにも携わり、多くのご利用者の在宅生活の場に触れ、工夫や実践を積み重ねるなかで多くを学びました。ご利用者へのADL・QOL改善に対するアプローチの幅が広がったのは、これまで関わった多くのご利用者のおかげと感じています。

施設紹介

当施設がある京都市伏見区は京都市の南部にあります。伏見は良質な地下水に恵まれた酒どころとして知られています。伏見稲荷大社や坂本龍馬ゆかりの地などがあり観光地としても人気があります。施設のある向島二ノ丸町は、安土桃山時代に豊臣秀吉が築城した向島城の跡地にあり、「本丸町」「二ノ丸町」といった地名に歴史が残ります。

2025年10月1日現在の京都市伏見区における人口は約27万人、高齢化率は約29%となっています。施設は向島ニュータウンという団地のほぼ中央に位置しており、当地区での高齢化率は37%を超えています。

当施設は社会福祉法人浩照会が2001年1月に開設し、2度の増床を経て、入所（定員276名）、通所リハビリ（定員80名）、訪問リハビリを運営していま

す。2020年9月から超強化型を算定し、現在も維持しています。

業務について

事務長としての業務は多岐にわたります。主な業務は施設全体のマネジメントです。具体的には、施設の収支管理、人事・労務管理、介護報酬請求の確認、加算取得管理、行政対応、委託業者対応に加えて職員からの相談対応やご利用者・ご家族からの苦情対応などです。

施設の職員は240名を超え、医師、看護職、介護職、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、支援相談員、介護支援専門員、管理栄養士、栄養士、事務職、運転手など多くの職種が働いています。2025年度より歯科衛生士の常勤雇用も開始しました。

こうした多職職が専門性を発揮しながら円滑に業務を行える環境を整えることが事務部門の役割だと考えています。運営上の制約や経営面のバランスを踏まえ、施設長や法人本部と連携し、現場と経営をつなぐことを基本に施設全体がスムーズに機能するよう努めています。

人事について

経営には「ヒト・モノ・カネ」が必要とされ、組織が機能するには「共通目的・協働意欲・コミュニケーション」という三要素が重要だといわれています。これらを組織運営のなかで機能させるためには、「ヒト」という経営資源を最大限に活かすことが不可欠であり、人事に関わる業務は極めて重要な役割を担ってい